



2023年5月12日

各位

会社名 株式会社ブレインパッド
代表者名 代表取締役社長 執行役員 CEO
高橋 隆史
(コード番号：3655 東証プライム)
問合せ先 取締役 執行役員 CFO 石川 耕
(TEL. 03-6721-7701)

2023年6月期 連結業績予想の修正および配当予想の修正（配当開始）に関するお知らせ

当社は、2023年5月12日開催の取締役会において、最近の業績の動向等をふまえ、2022年8月10日に公表した連結業績予想を修正するとともに、配当予想を修正すること（剰余金の配当を開始すること）を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2023年6月期 通期連結業績予想数値の修正（2022年7月1日～2023年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	10,300	1,100	1,140	800	36.48
今回修正予想 (B)	9,750	700	760	530	24.42
増減額 (B-A)	-550	-400	-380	-270	—
増減率 (%)	-5.3	-36.4	-33.3	-33.8	—
(ご参考)前期実績 (2022年6月期、非連結)	8,561	1,144	1,166	803	36.53

(2) 連結業績予想の修正の理由

当社グループは、前期（2022年6月期）第4四半期会計期間において新規受注が想定に届かなかった影響が当連結会計年度の上期にも一定程度続くという見込みのもと、当連結会計年度の業績予想を、売上高・利益面ともに下期偏重型の計画といたしました。しかしながら、その計画に基づいて下期からの売上高の回復に努めたものの、特定の大型顧客に対する売上高の縮小が生じたことに加え、新規受注が想定通りの成長には至っていないため、売上高は前年実績を上回る一方で、その成長ペースは期初の計画を下回るため、上記のとおり、売上高の予想を修正いたします。

利益面は、第3四半期連結会計期間において、クラウド費用に関する複数年の利用コミットメント契約に関して将来未使用となることが想定される金額約49百万円を契約損失引当金として損失計上したことに加え、第1四半期連結会計期間までは先行投資として増員を進めたことにより稼働率が低下傾向にあること、通常よりも採算性の低い案件が発生していることから、期初の計画を下回って推移しております。これをふまえ、上記のとおり、営業利益の予想を修正いたします。

一方、経常利益については、営業外収益が補助金収入、持分法による投資利益等により、期初の計画に比べて20百万円程度増加する見込みであること、親会社株主に帰属する当期純利益については、第3四半期連結会計期間において期初には計画していなかった投資有価証券売却益約41百万円を計上したことから、上記のとおり、修正いたします。

この業績の状況をふまえ、当社グループは、売上高の成長による稼働率の向上だけでなく、適切なコストコントロールによる利益率の改善を最重要課題に位置付けて事業運営にあたっており、次期（2024年6月期）は、当期の収益悪化要因（主に稼働率）への対処を加速させることにより、利益率を前期（2022年6月期）の水準に戻し、利益額も当期末の業績予想数値（過去最高益に近い水準）を上回っていきたいと考えております。

（注）業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。そのため、経済環境をはじめとする様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

2. 配当予想の修正（剰余金の配当の開始）について

(1) 2023年6月期 配当予想の修正

	1株当たり年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想		0円00銭	0円00銭
今回修正予想		8円00銭	8円00銭
当期実績	0円00銭		
（ご参考）前期実績 （2022年6月期）	0円00銭	0円00銭	0円00銭

(2) 配当予想の修正の理由

当社は、2023年5月12日開催の取締役会において次期中期経営計画を決議し、その計画内において資本政策および株主還元に関する基本方針を更新いたしました。その内容は以下のとおりであり、この新たな方針に基づき、剰余金の配当を開始いたします。

①これまでの基本方針

当社グループの資本活用における最優先課題を、既存ビジネスの成長を加速させるようなM&Aをはじめとする事業成長投資とし、資本の有効活用が進まない場合には、ROEの不用意な低下を避ける観点でも、自己株式の取得、配当等の株主還元を検討していく。

②今後の基本方針

当社グループは、事業成長と株主還元の両立を図ることを基本方針とし、長期の事業成長に資する投資は、財務健全性を損なわない範囲でのレバレッジ活用も視野に入れて強化していくとともに、安定的に連結営業利益率10%以上を確保していくことを目標として、連結総還元性向40%以上の株主還元を目指すこととする。なお、普通配当については長期安定配当を基本とし、それを上回る株主還元については、当社グループを取り巻く事業環境および市場環境に応じて自己株式の取得または記念配当もしくは特別配当を実施していく方針とする。

（参考）本開示を含む、本日（2023年5月12日）公表済の開示資料一覧

- ・「2023年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」
- ・「2023年6月期 第3四半期決算補足説明資料」
- ・「2023年6月期 連結業績予想の修正および配当予想の修正（配当開始）に関するお知らせ」
- ・「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ（会社法第165条第2項の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得）」
- ・「中期経営計画（2024年6月期～2026年6月期）の策定に関するお知らせ」
- ・「ブレインパッド、伊藤忠商事と、生成AIによる企業の業務変革や新規ビジネス開発支援を行う『生成AI研究ラボ』を共同設立」

以上